

ミカン生育情報

千葉県
平成 27 年 11 月号

平成 27 年 10 月の気象

平成 27 年 10 月の半旬別の気象を表 1 に記した。平均気温は、第 1 半旬から第 4 半旬までは平年より低く、第 5 半旬及び第 6 半旬は平年より高かった。月平均気温は 17.9℃で、平年より 0.1℃低く、昨年より 0.2℃低かった。

降水量は、第 4 半旬以外は平年より少なく、中でも第 5 半旬には降雨がなく、月合計は 93mm で、平年の 36%、前年の 30%であった。

日照時間は、全ての半旬で平年より長かった。月合計は 185 時間で平年の 135%、前年の 131%であった。

表 1 平成 27 年 10 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	20.4	20.5	20.6	17	44	104	26	20	10
2	17.3	19.0	19.9	5	71	51	40	20	22
3	18.5	18.7	18.0	15	32	42	32	21	18
4	17.4	17.7	17.1	42	41	5	25	22	41
5	17.0	16.6	16.6	0	31	57	30	24	16
6	16.8	16.0	17.0	14	40	47	33	29	35
平均/計	17.9	18.0	18.1	93	258	305	185	137	141

早生温州の果実品質

着色については、三芳地区は平年より早く、千倉地区と暖地園研は遅い(表 2)。糖度は三芳地区及び暖地園研で平年以上であり、平均は 10.1%で平年を上回った。酸度は全地点で平年を下回り、減酸が進み、酸度の平均は 0.76%で平年より 0.35%低かった。甘味比は全地点で平年より高く、平均 13.4 で平年より 4.6 高かった。果肉歩合は三芳地区及び暖地園研で低く、千倉地区で高い。なお、いずれの園地でも軽度な浮皮の発生が見られた。

表 2 早生温州の果実品質 (平成 27 年 11 月 5 日、6 日)

調査地	着色程度		糖 度%		酸 度%		甘味比		果肉歩合%	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
三芳地区	8.1	7.0	11.0	9.4	0.71	1.05	15.6	9.5	79.9	80.4
千倉地区	7.1	7.8	9.8	9.9	0.79	1.21	12.5	8.2	81.8	81.6
暖地園研	6.6	7.4	9.5	9.1	0.78	1.08	12.1	8.8	80.8	82.3
平均	7.3	7.4	10.1	9.5	0.76	1.11	13.4	8.8	80.8	81.4

注 1) 平年値は平成 7 ~ 26 年の平均値

注 2) 甘味比 = 糖度 / 酸度

注 3) 収穫翌日に果実品質を調査した。糖度と酸度については果実の上半分と下半分を別々に調査した。

果実の生育

10月末の果実の生育を3調査地の平均値で見ると(表3)、横径、縦径の平年比は早生温州ではそれぞれ94%といずれも平年を下回り、普通温州でもそれぞれ95%、93%と平年を下回った。川野夏柑ではそれぞれ105%、104%であり、平年を上回っている。

暖地園芸研究所内では果実腐敗が散見された。

表3 果実の生育(平成27年11月4日、5日)

No.		調査地	横径 (cm)	縦径 (cm)
1	興津早生	三芳地区	6.1 (93)	4.6 (90)
2		千倉地区	6.1 (95)	4.7 (95)
3		暖地園研	6.2 (93)	5.0 (97)
4	大津4号	三芳地区	6.9 (98)	4.9 (98)
5		千倉地区	6.9 (95)	4.6 (94)
6		暖地園研	6.8 (92)	4.6 (89)
7	青島温州	三芳地区	6.7 (95)	4.7 (93)
8		千倉地区	6.7 (94)	4.6 (92)
9		暖地園研	6.9 (95)	4.6 (90)
10	川野夏柑	暖地園研	9.4 (105)	7.5 (104)
11	日南1号 ※	暖地園研	7.4 (-)	5.5 (-)
	平均*	早生温州	6.1 (94)	4.7 (94)
		普通温州	6.8 (95)	4.7 (93)

() の数字は平年値(平成7~26年の平均)を100とした比数

※日南1号は本年から調査 *早生温州の平均はNo.1~3の平均、普通温州はNo.4~9の平均

11~12月の栽培管理

早生・普通温州の収穫・予措 品質を揃えるため、着色に合わせて収穫する。浮皮は着色後に発生するため、8分着色以上の果実を先に収穫し、分割採取とする。

収穫時に二度切りする際に、果梗枝はへたぎりぎりの所で切るが、へたに傷を付けないように気を付ける。運搬・選果の際にも果実に傷がつかないように丁寧に取り扱う。

その後、腐敗防止のため、コンテナの8割ほどまで詰め風通しの良いところへ置き、2~3%減量させる予措を行う。

病虫害の防除 ミカンハダニやカイガラムシが多い園では、収穫後にマシン油乳剤を用いて防除する。樹勢の弱い樹や寒害を受けやすい園地では、寒い時期の散布を避ける。また、乾燥が続いている場合は、降雨後に散布を行うと樹勢への影響が小さい。

防除を行う際は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

《生育情報の問合せ先》千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961 ※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>